

校長室から

学校経営方針

「地域とともにつくる日本一楽しい学校」

学校教育目標

「人間性豊かなたくましい子どもの育成」

No.25

令和元年9月17日(火)

「シニアと児童のつどい」 子どもたちの発表を喜んでいただきました



9月13日金曜日、午後から流山中央地区社会福祉協議会の皆様の主催による敬老会「シニアと児童のつどい」が本校体育館で行われました。来場・受付の間帯には6年生の代表児童がお客様を一人ずつお席まで案内してくれました。会が始まると前半は式典として主催者あいさつやご来賓からの祝辞等があり、後半は、児童会役員さんの司会進行で、1年生はダンス、2年生は群読と歌・ダンス、ついで吹奏楽部・合唱部による奏・合唱、そして会場の皆様と「ふるさと」の合同合唱を行いました。3・4年生はプログラムのさし絵、5年生は会場設営や後片付けでも協力しました。



参加された敬老の皆様にも、ご来賓や社会福祉協議会の皆様にも、子どもたちの姿がとても素晴しかった、とたくさんのおほめの言葉をいただきました。子どもたちも、日頃から地域の皆様に見守っていただいていることへのお礼の気持ちを伝えられたり、自分たちの姿を喜んでいただけたりして、とても

よい機会になりました。



「手作り行灯と観月のつどい」 ～夕方から夜の校庭が地域ふれあいの場に～

9月14日土曜日も、流山中央地区社会福祉協議会の皆様の主催による「手作り行灯と観月のつどい」が本校の校庭で開催されました。300人はゆうに超えるたくさんの方が来場されました。南部中学校の若さはじける吹奏楽演奏で元気をもらい、アントニオ斉藤さんの素敵なバイオリン演奏に心癒やされる素敵な時間となりました。雲が多く、お月様が顔を出す時間は短かったですが、満月の輝きからもパワーがもらえました。流山小・南部中・南高校の生徒、市民の方が作った300もの手作り行灯のあかりが優しい光を放っていました。

地域の方が学校を活用してくださって、このようなイベントができることをとてもうれしく、ありがたく思いました。

運営してくださった皆様、参加された皆様、ありがとうございました。



南部中学校吹奏楽部



アントニオ斉藤さん



手作り行灯の数々



上から見た行灯の光